

サステナブル調達の推進

基本的な考え方

サステナビリティへの取り組みは、サプライチェーン全体で取り組んではじめて完結されるものです。そこで、トッパンでは、取引先と協力・連携し、「CSR調達」と「生物多様性の保全」によるサステナブル調達に取り組んでいます。

「CSR調達」の指針となる「トッパングループ CSR 調達ガイドライン」は、調達業務にかかわるすべての従業員が守るべき基本的な考え方である「調達基本方針」と、取引先に遵守を要請する「CSR調達基準」で構成されています。「CSR調達基準」は、「基本的調達基準」と「人権・労働・環境・腐敗防止に関する調達基準」の二つで構成されています。この取り組みは、原材料の調達先のみならず、業務委託先やその仲介

業者も含め、すべてのサプライヤーを対象としています。

「生物多様性の保全」に関しては指針として「生物多様性に関する基本方針」があります。この方針に基づき調達部門では、生物多様性におよぼす影響の回避・最小化のため持続可能な原材料の積極的な利用を進めています。

トッパングループ CSR 調達ガイドライン 第2版

https://www.toppan.co.jp/assets/pdf/about-us/sustainability/2014/proc2014_01.pdf

生物多様性に関する基本方針

<https://www.toppan.co.jp/assets/pdf/sustainability/2013/biodiversity.pdf>

推進体制・仕組み

トッパングループは、サステナビリティ方針として、2007年に「CSR調達ガイドライン」、2010年に「生物多様性に関する基本方針」を策定しました。サステナブル調達の取り組みは、本社製造統括本部購買センターなど、調達部門が中心となって、取引先と緊密な連携をしながら進めています。

■ サステナブル調達への会社方針と施策

会社方針	方針(詳細)	リスク評価	リスク評価結果	管理施策・管理指標(KPI)	対象取引先
CSR調達ガイドライン	・ 調達基本方針	社内リスクアセスメント	・ コンプライアンス違反 (優越的地位の濫用・横領)、社会倫理の逸脱	管理指標： 調達部門のコンプライアンスに関するモニタリング調査の実施と評価	重要な取引先
			・ サプライチェーン全体への「CSR調達基準」の展開状況	管理指標： 「トッパングループCSR調達ガイドライン」の遵守を定めた売買基本契約の締結進捗率	主要取引先
	・ CSR調達基準		・ 原材料への有害物質の混入	管理施策： 原紙・材料購入業者評価 (ISO9001)	全取引先
	・ 地震、風水害、新型インフルエンザ等の自然災害による資材、設備の供給停止		管理施策： トッパングループ原材料含有化学物質管理基準	全取引先	
生物多様性に関する基本方針	生物多様性におよぼす影響の回避・最小化のため持続可能な原材料の積極的な利用を進める		・ 生物多様性への影響が大きいと考えられる「紙」の持続的な利用に関するリスク	管理指標： 紙の原料になる森林資源の持続可能な利用のため、合法的に伐採された木材であるかを評価	取引のある全ての製紙メーカー
			・ 木材の違法伐採による生物多様性への悪影響 ・ 森林資源の枯渇による木材供給停止 ・ 印刷用紙の供給停止と印刷事業の中断	管理施策： 森林資源の持続可能な利用に配慮した用紙調達ガイドライン	取引のある全ての製紙メーカー

■ CSR 調達基準の展開

調達部門はサプライチェーン全体に「CSR 調達基準」を広めるため、次の施策に取り組んでいます。

- ・「大規模災害発生時の事業継続」にかかわる取り組み状況の確認
- ・「トッパングループ CSR 調達ガイドライン」の説明
- ・「トッパングループ CSR 調達ガイドライン」遵守を盛り込んだ売買契約書の締結
- ・「人権・労働・環境・腐敗防止」への取り組み状況の確認

また、原材料含有化学物質管理基準を定め、サプライチェーン全体で製品含有化学物質の管理に取り組んでいます。

トッパングループ原材料含有化学物質管理基準 Ver4.5.1
https://www.toppan.co.jp/assets/pdf/about-us/sustainability/2019/proc2019_11.pdf

■ 生物多様性の保全への取り組み

トッパンは「生物多様性に関する基本方針」に基づき、持続可能な調達活動を進めています。原材料調達においては、生物多様性への影響が大きいとされる「紙」の持続的な利用に積極的に取り組むため「調達ガイドライン」を定めています。

さらに、森林資源の持続可能な利用のため、紙の原料となる木材が合法的に採取されたものであるかどうかの確認を製紙メーカーと連携して行っています。

トッパングループ「森林資源の持続可能な利用に配慮した用紙調達ガイドライン」第2版
https://www.toppan.co.jp/assets/pdf/about-us/sustainability/2014/proc2014_06.pdf

■ 調達基本方針（調達部門のコンプライアンス推進）

CSR 調達の取り組みは、取引先との信頼関係の上に成り立つものです。

トッパンの調達にかかわる取引先からの通報窓口として「サプライヤーホットライン」をトッパンのコーポレート Web サイト上に設置し、すべての取引先が利用できるようにしています。

さらに、トッパンでは調達部門が、調達基本方針に基づく適正な対応ができていないかモニタリングを実施しています。

サプライヤーホットライン
<https://www.toppan.co.jp/about-us/our-corporate-approach/supplier-hotline.html>

主な活動・関連情報

取引先に対する新型コロナウイルス感染症の影響確認

2020年初頭より新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、サプライチェーンへの影響が懸念されました。そこで、原材料の調達先である製造メーカーのうち、2019年度取引金額上位50社に、重要な商材を扱う取引先135社を加えた合計185社に対して、新型コロナウイルスに対する重大な影響の有無や対応状況を確認しました。その結果、2020年5月現在、原材料の調達に大きな影響が出ていないことを把握しました。

取引先へのCSR調達ガイドライン説明と売買基本契約の締結

2019年度までに2,108社の取引先へガイドラインの説明を行いました。また、取り組みをサプライチェーン全体に推進するため、「トッパングループCSR調達ガイドライン」の遵守を定めた売買基本契約の締結を進めています。2019年度までに年間購入額10百万円以上の取引先の81%と締結しており、2025年度までには100%の締結を目指していきます。

環境分野では、個別に「原材料含有化学物質管理基準」や「森林資源の持続可能な利用に配慮した用紙調達ガイドライン」などを設け、取り組みを進めています。

■ CSR調達ガイドライン説明実績

	2017年度	2018年度	2019年度
説明実施社数	25社	4社	4社
累計社数	2,100社	2,104社	2,108社

■ CSR調達ガイドラインの遵守を定めた売買基本契約の締結率(年間購入額10百万円以上の取引先)

	2017年度	2018年度	2019年度
累計締結率	72%	76%	81%

調達部門のコンプライアンスに関するモニタリング調査

調達部門が、調達基本方針に基づく適正な対応を取れているかどうかを確認するため、取引先に対して定期的にモニタリングを依頼しています。

2019年度は、10社の取引先にトッパンの調達活動に関するアンケートを実施し、その結果に基づいて調達活動の改善を図りました。

■ モニタリング実績

	2017年度	2018年度	2019年度
回答いただいた取引先の社数	13社	8社	10社
累計社数	116社	124社	134社

紙の原料となる木材の合法性調査

トッパングループは「生物多様性に関する基本方針」を策定し、2010年5月にWebサイト^{*1}に公表しました。

原材料調達では、「生物多様性に及ぼす影響の回避・最小化により、持続的な利用に積極的に取り組む」ことを定めています。用紙調達では、具体的な取り組みとして、森林資源の持続可能な利用のため、「紙の原料となる木材の合法性調査」に取り組んでいます。

調査では、当社が購入している印刷用紙全体の90%以上に当たる量に対して、原料である木材が合法的に採取されたものかを製紙メーカー各社に確認しています。2019年度は、購入金額の92.4%にあたる国内外の取引先16社25拠点を対象に調査を実施し、そのすべての木材が合法的に採取されたものであることを確認できました。

※1 <https://www.toppan.co.jp/assets/pdf/sustainability/2013/biodiversity.pdf>

■ 紙の原料となる木材の合法性調査実績 (購入金額比率で90%以上を占める製紙メーカー)

	2017年度	2018年度	2019年度
調査した会社数	18社	18社	16社 ^{*2}
購入金額比率	92.3%	90.6%	92.4%
合法性を確認した割合	100%	100%	100%

※2 直近3年間でリスク評価の高い製紙メーカーを対象

グリーン購入ネットワークへの参加

グリーン購入ネットワーク（GPN）は、グリーン購入が環境配慮型製品の市場形成に重要な役割を果たし、市場を通じて環境配慮型製品の開発を促進し、ひいては持続可能な社会の構築に資する極めて有効な手段であるという認識のもと、グリーン購入に率先して取り組む企業、行政、民間団体などの緩やかなネットワークとして1996年に設立しました。

トップパンは、このグリーン購入ネットワークに参加し、メンバーシップとして印刷サービスのグリーン購入ガイドラインに基づいた印刷サービスを提供しています。

グリーン購入ネットワークWebサイト
<https://www.gpn.jp>



東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 持続可能性に配慮した調達コード（第3版）説明会の開催

2019年5月、販促ツール・プレミアム製造の取引先に対して、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 持続可能性に配慮した調達コード（第3版）の説明会を開催しました。説明会では、本調達コードの内容説明を行い、原材料の調達先のみならず業務委託先やその仲介業者も含めすべての取引先に本調達コードの遵守を依頼し、同時にトップパングループCSR調達ガイドラインの継続遵守の依頼も行いました。また、現在の持続可能性に配慮したCSR調達への取り組み状況についてのアンケートも実施し、取り組み状況の把握を行いました。

開催日：2019年5月17日、23日

場所：トップパン小石川ビル

参加社数：65社

